

湘南大庭地区の今後の取組み資料

目 次

- 1 湘南ライフタウン周辺地区の公共交通の再編
(BRT化に向けた取組み) 1

第8回 藤沢市地域公共交通会議

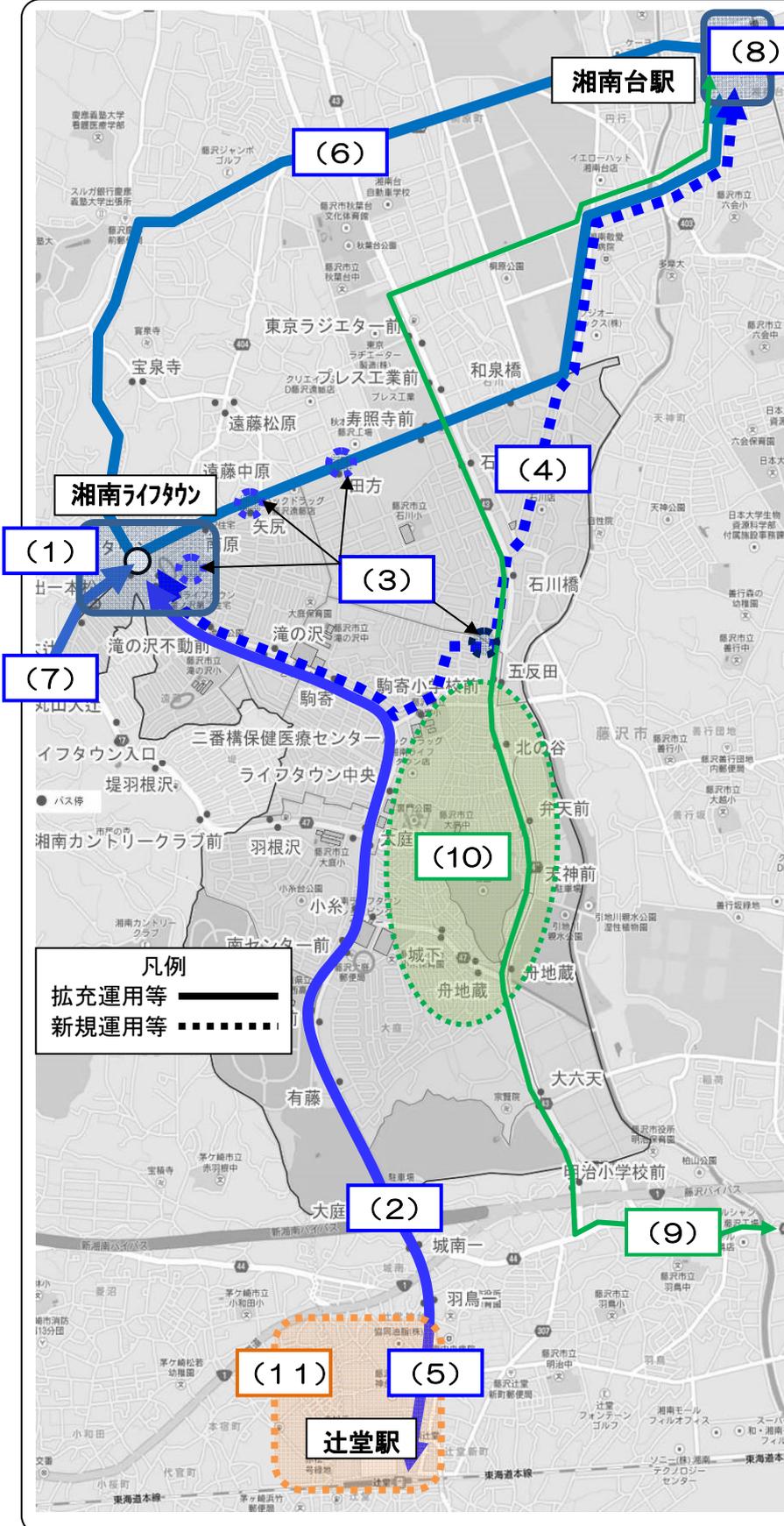
2015年3月5日(木)

藤 沢 市

1. 湘南ライフタウン周辺地区の公共交通の再編（BRT化に向けた取り組み）

（1）交通環境の改善に向けた計画概要

交通環境は、連節バスの運行、急行運転などの運行効率を向上させる取り組みや、新規路線の整備などバス需要を伸ばすための施策を複数組み合わせることで一体的に実施することで、改善が図られると考えております。施策の時系列展開は3段階で実施することを想定しており、第1施策は、公共交通の改善に不可欠な施策を示しており、第2、第3施策は、合意形成等の課題解決の難易度で分類したもので、課題解決時期を考慮して中期的に取り組みます。



第1施策のパッケージ

- (1) 湘南ライフタウンのバスターミナル機能強化**
 - ①バスターミナルの拡張整備
- (2) 辻堂駅遠藤線の軸の強化**
 - ①連節バス導入
 - ②速達性確保のための急行運転
 - ③運行情報の提供
 - ④乗降方法の改善検討
- (3) 地域内交通の充実**
 - ①サイクル・アンド・バスライド 駐輪場の整備
- (4) 石川方面のバス路線の新設**
 - ①湘南台駅～石川地区～湘南ライフタウン
- (5) 辻堂駅周辺での渋滞によるバスの遅れ解消**
 - ①混雑解消に向けた検討
(バスルートの変更)
- (6) 湘南ライフタウン～湘南台駅の強化**
 - ①慶応大学方面路線を活用
- (7) 需要喚起のためのバス路線新設**
 - ①寒川町～湘南ライフタウンの路線新設
- (8) 湘南台駅西口の混雑解消**
 - ①湘南台駅東口の運用

第2施策のパッケージ

- (9) 石川方面の路線拡充**
 - ①藤 34 系統の運行本数増
【利用状況を踏まえ今後検討】
- (10) 地域内交通の充実**
 - ①大庭中部～南部の地域内交通
【需要を具体的に見極める】

第3施策のパッケージ

- (11) 辻堂駅周辺での渋滞によるバスの遅れ解消**
 - ①混雑解消に向けた検討
(専用レーンの整備)

(2) 事業実施スケジュール

藤沢市交通マスタープラン(平成25年度策定)や藤沢市交通アクションプラン(策定中)と整合を図りながら、第1施策(交通事業者との調整などを行い、次年度以降、具体的に進めていく施策)、第2施策(地域住民との協議や利用促進活動を行い、中短期的に実現を目指していく施策)、第3施策(交通事業者や沿道住民との協議、構造検討などを行い、中期的に実現を目指していく施策)に分類して実施を予定します。

表-1 事業実施スケジュール

取組み内容		短期(~H29年度頃)	(~H32年度頃)	中期(~H36年度頃)
湘南ライフタウン 周辺地区の取組み	第1施策	→		
	第2施策	→		
	第3施策	→		
交通マスタープラン(長期)		概ね20年間の施策 →		
交通アクションプラン(中短期)		概ね10年間の施策 →		

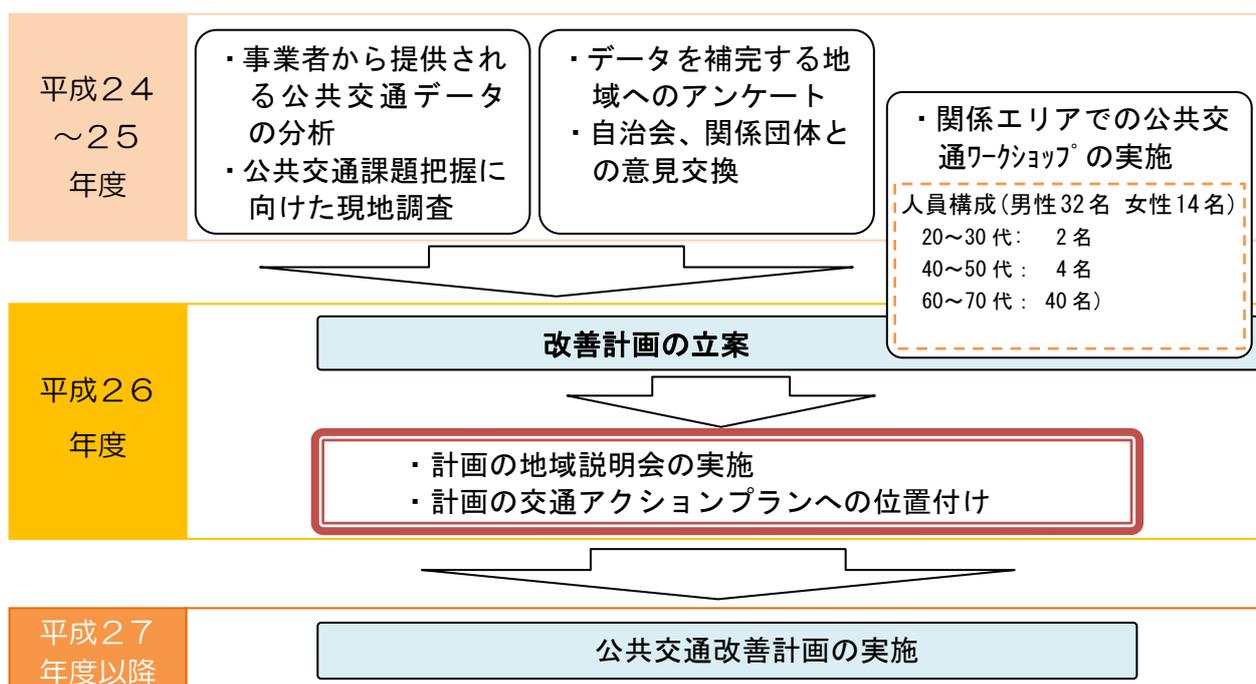
(3) 地域説明会の概要

平成24年度、25年度に実施した各種検討や交通環境の改善に向けたワークショップを踏まえ、平成26年度、改善計画の立案、地域への説明会等を行った結果は、次のとおりです。

なお、地域への説明会に先立って、地域の関係団体や自治会・町内会の方への説明を行ったうえ、実施しております。

計画を否定する意見については、ほとんど挙げられなかった一方、[計画の充実、スケジュールについて改善を求める意見が一部挙げられたことから、基盤整備に依存しない事業の早期実施等について、検討を進めること](#)とします。

なお、挙げられた意見のうち、計画にない新規路線の要望は、ワークショップの意見で挙げられたものと重複しており、現時点で実現できない施策として回答しております。



1) 第1回説明会

①開催概要

日 時：2014年12月7日（日） 10時00分～11時30分

会 場：湘南大庭市民センター 第一談話室

参加者：湘南大庭地区住民 34名

②主な意見

(a) 追加施策としての提案

- ・秋葉台体育館、中央市場、綾瀬車庫の先へ行く路線が必要

(b) 辻堂駅の混雑

- ・辻堂駅の土日や雨天時の混雑は深刻。日常生活でも支障あり。早急な対策が必要
- ・辻堂駅の混雑解消のため、信号制御の見直しが必要では

(c) 湘南ライフタウン・バスターミナル

- ・ターミナル機能強化の内容について
- ・具体的なスケジュールについて

(d) その他

- ・湘南台から慶応大学方面へのいずみ野線の延伸時期。バス路線の再編について
- ・新交通システムの事業用地の取扱いについて
- ・この取組は、広報等を利用して、広く周知することが適当（意見）

2) 第2回説明会

①開催概要

日 時：2015年 2月 5日（木） 19時00分～20時15分

会 場：六会市民センター 石川分館 第一談話室

参加者：六会（石川）地区住民 8名

②主な意見

(a) 追加施策としての提案

- ・天神ミニバスの延伸

(b) 新規路線の詳細

- ・停留所・運行計画・運行ルートに関して

(c) 再編後の路線運用の詳細

- ・乗継割引の実施エリア

- ・石川山田バス停付近の混雑への早期対応について

(d) その他

- ・サイクル・アンド・バスライドエリアの拡充について

(4) 藤沢市交通アクションプランへの位置づけ

平成 27 年 3 月に策定予定の藤沢市交通アクションプランにおいて、湘南ライフタウン周辺地区の公共交通の再編について戦略施策として位置づけており、今後取り組みを進めていきます。

なお、藤沢市交通アクションプランの戦略施策は、計画を着実に実施するために、実施主体、関係者を定めるとともに、施策の効果、計画期間についても定めたものです。

この戦略施策の内容については、藤沢市地域公共交通会議の議論の結果を踏まえ、策定を進めております。

また、藤沢市交通アクションプランの策定に伴い、平成 27 年度から当該事業の実施していくものです。

■ 藤沢市交通アクションプラン（策定中）での取り組み内容（P60～62）

公共交通 戦略 1-2 (仮) 新南北軸線への新たな交通システムの整備推進					
交通戦略	形成計画	方針 1	方針 2	方針 3	方針 4
対象地域	藤沢駅・(仮)村岡新駅周辺 辻堂駅周辺 湘南台駅周辺 片瀬・江の島周辺 長後駅周辺 六会日大前駅周辺 善行駅周辺 湘南大庭周辺 西北部				
概要	都市拠点間の連携強化や湘南大庭周辺地域、西北部地域などの利便性向上を図るため、都市拠点（交通拠点）の辻堂駅周辺と健康と文化の森地区をつなぐ南北方向の広域連携軸として（新）南北軸線における新たな交通システム導入に向けた取り組みを推進します。また、（新）南北軸線周辺の公共交通が確保されていない地域において、（新）南北軸線の主要バス停に接続する地域交通の導入を進めます。				
考え方	●取組の背景				
具体施策	<ul style="list-style-type: none"> 湘南大庭地域は、鉄道駅まで距離があり、バス交通が中心となっています。通勤・通学時間帯には、高頻度でバスが運行されているが、定時制、速達性が確保されておらず、利用者の集中によるのりこぼしが発生しているなどの課題があり、改善が必要です。 湘南大庭地域では、辻堂駅遠藤線にバス交通が充実している一方、その周辺エリアでは、公共交通が確保されていなく、自動車の利用割合が高いことから、地域に適した交通システムの導入が必要です。 湘南大庭地域は、市内でも最も早く高齢化が進む地域と想定されており、高齢者ニーズに対応した交通手段を確保するとともに、若年世代にとっても魅力のあるまちづくりや交通手段の確保が必要です。 				
	●実現に向けた取組方針				
	<ul style="list-style-type: none"> 施策の取組みについては、施策実施による改善効果の高さ、合意形成等の容易さ等を鑑みて、施策を 3 段階にわけて、段階的に進めていきます。 交通環境は、連節バスの運行、急行運転などの運行効率を向上させる取り組みや、新規路線の整備などバス需要を伸ばすための施策を複数組み合わせ一体的に実施することで、改善が図られると考えています。施策の時系列展開は 3 段階で実施することを想定しています。 				

●展開する具体的施策

<第1段階>

効率的なバスの運用、需要喚起、走行環境の改善等一体的に施策を行うことが効果的で、合意形成等が比較的容易に進められると想定され、短期的に施策の実現をめざすもの。

<第2段階>

現状からの改善が望まれるが、需要面や合意形成について確認すべき事項があり、今後、検討を進めるなかで中短期的に具体化をめざすもの。

<第3段階>

合意形成、計画の策定に複数の懸案事項が想定されること及び施工等についても一定の期間を要することから、中期的に具体化をめざすもの。

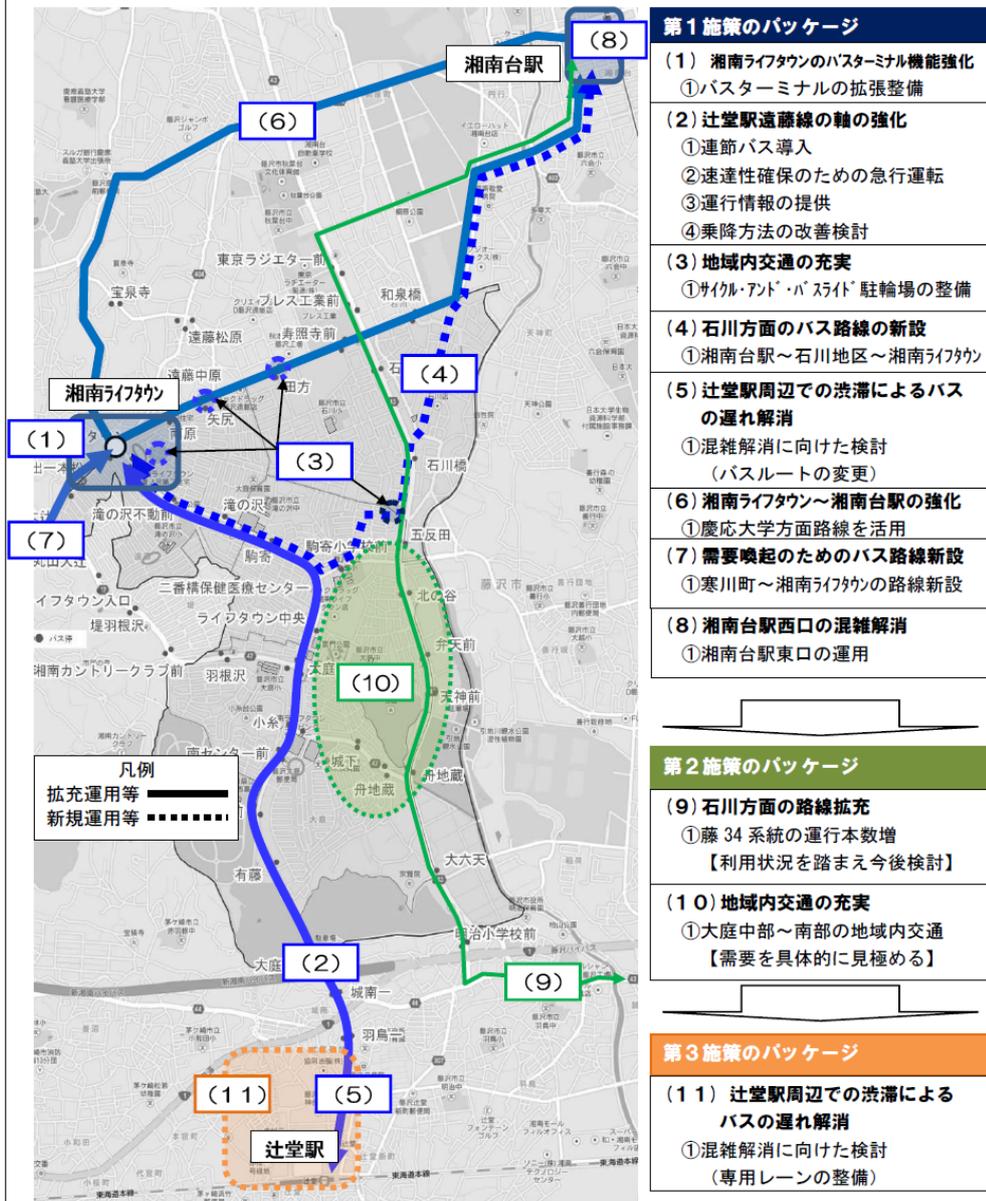


図 段階的な施策のパッケージ

●期待される効果

(評価指標に関する効果)

- ・評価指標 1-1 最寄り駅まで 15 分圏の人口割合の増加
- ・評価指標 1-2 藤沢駅まで 30 分圏の人口割合の増加
- ・評価指標 1-4 最寄り駅までの所要時間に関する満足度の向上
- ・評価指標 1-5 公共交通の利便性に関する満足度の向上
- ・評価指標 3-1 鉄道・バス・自転車の利用の促進
- ・評価指標 3-2 自動車の利用割合の改善

関連施策

- 戦略 1-4 バス路線の確保・充実・再編
- 戦略 1-5 地域公共交通（乗合タクシー等）の導入
- 戦略 1-6 公共交通等の利用促進
- 戦略 2-6 自転車利用環境の整備（つかう）
- 戦略 4-1 交通結節点の整備・充実

具体施策	実施主体	短期 (～H31 年度)	中期 (～H36 年度)	中長期 (H37 年度～)
第 1 施策	藤沢市 交通事業者 近隣自治体			
第 2 施策	藤沢市 交通事業者			
第 3 施策	藤沢市 交通事業者			